

1. 日時 令和3年11月4日(木)第5校時
2. 場所 2年H組教室
3. 授業名 総合英語
4. 対象 2年H組(39名)
5. 教科書名 Perspective English Communication II (第一学習社)
6. 単元名 Lesson 5 “Lost and Wasted”

7. 科目の学習目標

英語を通じて、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度を育成するとともに、情報や考えなどを的確に理解したり、適切に伝えたりする能力を伸ばす。

8. 単元の目標

- (1)題材内容：食料損失・食料廃棄の現状と原因、経済や環境への影響、世界諸地域での廃棄削減に向けた取組について理解する。
- (2)言語材料：新出語彙及び文構造(独立分詞構文、複合関係詞)の知識を身に付ける。
- (3)言語活動：本文を適切に音読する。理解した内容に基づき英問英答をする。根拠とともに意見を述べる。関連するトピックでパラグラフエッセイを書き、グループで発表と質疑応答を行う。

9. 単元の指導計画(10時間)

第1時	単元の導入、Part1 新出語彙、内容理解、音読
第2時	Part1 復習、Part2 新出語彙、内容理解
第3時	Part2 復習、音読
第4時	Part3 新出語彙、内容理解、音読
第5時	Part3 復習、音読、Part4 新出語彙、内容理解
第6時	Part4 復習、音読
第7時	まとめ、文法演習
第8時	ライティング(導入、意見交換、パラグラフ構成復習、アウトラインの作成)
第9時	ライティング及びスピーチ準備(ピアレビュー、教員によるスピーチ&QA デモ)
第10時 (本時)	スピーチ活動

10. 単元の評価計画

(1) 評価規準

	関心・意欲・態度【関】	表現の能力【表】	理解の能力【理】	知識・理解【知】
具体的な評価規準	課題をしている。 クラスでの発言がある。 ペアやグループの活動に積極的に取り組んでいる。	情報・考えを整理し、書いたり、話したりできる。聞き手に伝わる音読ができる。論理的で説得力のあるライティング・スピーチができる。	聞いたり読んだりして、本文の内容や他者の発表を正確に理解することができる。	新出語彙と文法の知識を身に付け、運用することができる。
評価方法	Oral Introduction、新出語彙確認、英問英答、本文音読、ライティング・スピーチ活動	英問英答、本文音読、意見交換、ライティング・スピーチ活動	リスニング、英問英答、意見交換、スピーチ活動	新出語彙確認、英問英答、本文音読、文法演習

## 11. 本時の展開

### (1) 本時の目標

- ・トピック("Restaurants in Japan should introduce the use of doggie bags.")について、賛成又は反対の立場で論理的で、説得力のあるスピーチを行う。
- ・グループメンバーのスピーチを聞いて、正確に理解し、質問をする。
- ・活動を振り返り、説得力のあるライティング・スピーチについての理解を深める。

### (2) 本時の指導過程

過程	学習の活動	教師の指導と留意点	評価観点 [評価方法]
導入	(授業前に4人グループに分かれておく。) ●本時の流れと目標を確認(2分) ○評価済みのエッセイを受け取る。教員の説明を聞く。	○エッセイをループリックとともに返却する。スライドを用いて、流れと目標を説明する。	
展開	●スピーチ練習(6分) ○ペアでエッセイを読む練習をする。読めない単語がないかを確認する。  ●スピーチ活動準備(7分) ○教員の説明を聞き、グループ内で発表する順番を決める。 ○ハンドアウトにある質問の表現をFLTのあとに続いて読みながら確認する。  ●スピーチ活動(25分) ○各グループで、スピーチを順番に行う。発表をしていない生徒は、スピーカーの賛成・反対の立場、理由2点のメモを取る。各スピーチ後、全員が質問をする。  ○全員のスピーチが終わったら、Best Speakerとその理由を書く。	○生徒の質問に答える等して、練習を支援する。  ○ハンドアウト2種:質問表現と聞き取り用のフローシートを配布し説明を行う。 ○FLTは表現を読み上げ、生徒にリピートさせる。JTは生徒の様子を観察し適宜説明を加える。  ○時間を計りながら、各活動を進行する。生徒の活動を観察して、理解を把握する。要すれば個別に支援する。  ○英語の流暢さではなく、内容で選ぶことを伝える。	【関】ペアワークに積極的に取り組んでいる。[観察]  【表】論理的で説得力のあるスピーチができる。[観察]  【理】他者の発表を聞いて正確に理解することができる。[ハンドアウトの記入状況]
まとめ	●振り返り(10分) ○各グループで、Best Speakerとその理由について意見交換する。 ○説明を聞きながら、各自ハンドアウトにメモをとる。	○生徒の様子を観察する。  ○生徒の意見1つを取り上げ、板書しながら説得力のあるライティング・スピーチについてポイントを共有する。	